SUEKANE
CLINIC

末包クリニックで分娩を希望される妊婦さんへ

妊娠中の検査・妊婦健診スケジュール

妊娠中の検査

■妊娠前期

①血液検査

・血液型（ABO血液型・Rh血液型）　・不規則抗体　・血算　・血糖
・B型肝炎ウイルス抗原　・C型肝炎ウイルス抗体　・HIV検査　・梅毒血清反応
・風疹ウイルス抗体　・HTLV-1抗体　・トキソプラズマ抗体

②子宮頸がん検診（細胞診）、クラミジア抗原検査（PCR）

■妊娠中期（およそ妊娠24週から28週）

・血算　・50ｇ糖負荷試験

■妊娠後期（およそ妊娠34週から36週）

・血算　・膣細菌培養検査（GBSスクリーニング）

標準的妊婦健診スケジュール（およその目安）

4週ごと	2週ごと	毎週	週2回

10週　24週　36週　40週（分娩予定日）

妊娠10週～24週	およそ4週ごと
妊娠24週～36週	およそ2週ごと
妊娠36週～40週	およそ1週ごと
妊娠40週～	およそ週に2回（必要に応じ増減します）

妊娠前期検査

■血液型（ABO血液型・Rh血液型、不規則抗体）

ABO血液型には、A型、B型、O型、AB型が、Rh血液型には、Rh（＋）とRh（−）が、そして不規則抗体には多くの種類があります。これらを妊娠初期に調べておく理由は、

①妊娠中や分娩中は、緊急輸血が必要となる事態が発生することもあります。比較的まれな血液型ではすぐに同じ型の血液が入手できるとは限りません。緊急時にすみやかに輸血が行えるようにするために、血液型がわかっていることが大切です。

②血液型がRh（−）の場合や、不規則抗体をもち合わせている場合、血液中の抗体が胎盤を通過し、胎児の赤血球を壊してしまうことがあります。このような血液型がないか初期に確認することも重要です。

■血算

血液中の白血球数・赤血球数・ヘモグロビン（血色素）濃度・ヘマトクリット（赤血球容積率）値・血小板数などを調べます。貧血のチェックが主体です。
妊娠経過中には赤血球の材料となる鉄分が不足するため、貧血に傾きがちです。妊娠初期から貧血を呈している場合は、鉄剤などの内服が勧められます。

■血糖

妊娠糖尿病は妊娠中に起こりやすい病気の1つです。そのスクリーニングのため、妊娠初期に随時採血により血糖値を調べます。血糖値が高い場合には、精密検査を行い妊娠糖尿病かどうか調べます。

■B型肝炎ウイルス抗原

妊婦さんがB型肝炎ウイルスをもっているかを調べる検査です。分娩時に児に感染する可能性があります。感染がわかっていれば、分娩時の母子感染を回避する手段が講じられます。

■C型肝炎ウイルス抗体

妊婦さんがC型肝炎ウイルスをもっているかを調べる検査です。C型肝炎ウイルスも分娩時に母子感染する可能性があります。

■HIV検査

妊婦さんがHIV(ヒト免疫不全ウイルス：エイズの原因ウイルス)をもっているかを調べる検査です。産道感染や母乳感染により母子感染を起こします。妊娠中からの治療によりエイズ発症を防ぐだけでなく、母子感染も防ぐことができます。

■梅毒血清反応

妊婦さんが梅毒の病原体をもっているかどうかを調べる検査です。自覚症状がなくても、陽性であれば梅毒にかかった可能性があります。病原体は胎盤を通過して胎児に感染しますので、胎盤完成（妊娠16週頃）以前に抗生物質による治療を行います。

■子宮頸がん検診（細胞診）

子宮頸部の細胞を綿棒などでこすりとり、がんの疑いのある細胞がないかチェックします。疑いのある細胞が認められた場合には、精密検査に進みます。子宮頸がんと診断されても、多くの場合治療により妊娠を継続することができますが、初期のがんでは自覚症状がないことがほとんどです。

■クラミジア抗原検査(PCR)

クラミジアは、細菌とウイルスの中間に属する病原体で、子宮の入口(子宮頸管)の中にひそんでいると、お産のときに赤ちゃんに感染し、赤ちゃんに結膜炎、肺炎などを引き起こす恐れがあります。このため、妊娠中にクラミジア検査を行い、陽性の場合はお薬で治療し、これによる母子感染を防止することが勧められています。当院では妊娠初期にクラミジア検査を行っています。検査は、内診のときに綿棒で子宮の入口を軽くこすって採取するだけです。もし、陽性の場合は、抗生物質(ジスロマック、クラリシッド、など)を使用します。治療後およそ4週間後に再度検査を行い、治ったかどうかを確かめます。

■風疹ウイルス抗体

風疹(三日はしか)ウイルスに対して免疫のない妊婦さんが妊娠初期に感染すると、胎児にも感染し、「先天性風疹症候群(CRS)」になる心配があります。妊娠前に風疹にかかったり予防接種を受けて、抗体ができていればほとんど心配はありません。しかし、予防接種では抗体ができにくい人もいますし、また抗体も時間がたつと少なくなります。

■トキソプラズマ抗体

トキソプラズマはヒト、動物に共通に寄生する病原性の原虫です。食肉やペット(猫が多い)、土などから口に入りヒトに感染するといわれ、日本では1～2割以上の人が知らないうちに感染し、抗体を持っています。成人が感染しても多くの場合、症状(かるいかぜ様の症状が出ることはある)は出現せず、過ぎてしまいます。しかし、妊娠中にトキソプラズマに初めて感染すると胎児も感染する場合があります。

■HTLV-I抗体(成人T細胞性白血病ウイルスI型抗体)

まれですが、白血病や神経の麻痺などをおこすウイルスで、おもに母乳から赤ちゃんにうつります。
お母さんがこのウイルスをもっていても、人工栄養にすれば、母乳による感染は防げますので、検査をしておくことが望まれます。

妊娠中期検査

■血算

■50g経口ブドウ糖負荷試験(グルコースチャレンジテスト)

採血→ブドウ糖液摂取1時間後採血
妊娠糖尿病がないかみる検査です。

妊娠後期検査

■血算

■スクリーニング

肝臓、腎臓系の検査
自覚症状がなくても、まれに、肝臓、腎臓の働きが悪くなっていることがありますので検査します。

■B群溶連菌(GBS)検査

膣の常在菌で、全妊婦の10～30%から検出されますが、その内約1%はGBS感染症を発症します。
分娩前に調べる検査です。

教室のご案内

当院では、ご妊娠された方のために、母親教室がございます。尚立ち会い分娩をご希望される方は父親教室を受講していただきます。

母親教室	前期(妊娠7ヶ月まで)	第1月曜日 午後（必ずこのパンフレット持参の事）
	後期(妊娠8ヶ月以降)	第3月曜日 午後
父親教室		第3土曜日

お問い合わせ・ご相談

陣痛が始まった時、腹痛・出血・破水など何か異常がある場合、あるいは心配な事やご相談がある時などは、ご連絡下さい。

以上、お分かりにならないことがあれば、遠慮なくご相談下さい。

末包クリニック　TEL：06-6435-2488

産科 婦人科

末包クリニック

兵庫県尼崎市南武庫之荘1-13-10　〒661-0033

TEL：06-6435-2488
FAX：06-6435-2490

http://www.suekane.or.jp